

2) レベル別の定義

レベル		修了の目安	レベルの定義
I	新人初期	新卒での 新入職 (1年間)	①指導や教育のもとで、基本的な看護手順に従った看護が、安全に実践できる。 ②当院職員および看護職として自覚を持って、責任ある行動がとれる。 ③ケアの受け手・他職種を含む職員と良好な人間関係を築くための自己の課題に気づくことができる。
II	新人後期	基本的に 1年間	①標準的・平均的な看護計画が立案でき、その計画に基づく看護が安全に一人できる。 ②看護実践で得た知識や技術を経験として積み重ね、適切な判断や効果的な技術の提供につなげることができる。 ③組織・特にチームメンバーとしての役割が自立して実践できる。 ④ケアの受け手を取り巻く状況や看護において、自ら倫理的問題に気づくことができる。
III	一人前	基本的に 3年間	①患者の個性をふまえた看護を、一連の看護過程を通して安全に確実に実践できる。 ②日常的に実践している看護を意識的に振り返り、新たな気づきを得ることができる。 ③組織の中でのリーダーシップを理解した上で、部署や看護実践においてリーダーシップが発揮できる。 ④自ら倫理的問題に気づき、倫理原則と照らし合わせ、対処行動を起こすことができる。 ⑤ケアの受け手や周囲の人々の意思決定に必要な情報を提供でき、意向の違いを多職種に代弁できる。 ⑥自らコミュニケーションスキルを応用し、ケアの受け手や周囲の人々と積極的に関係作りができる。
IV	中堅	基本的に 3年間	①物事を多角的な視点で、かつ客観的にとらえ、分析して、論理的に説明できる。 ②ケアの受け手を取り巻く状況を統合して、予測的かつ論理的に整理・判断して、多職種を巻き込んだ個別の看護ができる。 ③部署で求められる専門的な能力や指導的役割を自覚し、それを遂行できる。 ④部署内で発生している倫理的問題の要因を分析し、スタッフを巻き込みながら、主体的に問題解決行動がとれる。 ⑤ケアの受け手や周囲の人々の意思決定プロセスに看護職の立場で参加し、適切な看護ケアが実践できる。 ⑥自己のコミュニケーションスタイルや看護を振り返って内省し、更に幅広くより良い関係構築のための課題に取り組むことができる。
V	達人	基本的に 3年間	①より複雑な状況の関連性を把握し、様々な知識や技術・社会資源を統合・応用して、個々の患者に最適な看護が選択・実践できる。 ②論理的かつ卓越した実践的知識や新たな知見を統合し、所属を超えてリーダーシップが発揮できる。 ③地域や在宅での療養を見据え、多職種および地域で活動する様々な人材を巻き込んで、看護実践のための調整や連携が行える。 ④複雑な状況下における倫理的問題を多職種と協働し問題解決行動がとれる。 ⑤適切な資源を積極的に活用し、法的および文化的配慮など、多方面からケアの受け手や周囲の人々を擁護した意思決定プロセスを支援できる。 ⑥看護実践や問題解決のために、コミュニケーションスキルを応用し、構築した人間関係を活用することができる。